

(医病) 中央設備機械室ボイラー設備新設工事

老朽化したボイラー設備3基で交互運転しているが、高効率化を目指し、高効率蒸気ボイラー設備1基を新設した。今後は本設備をベース運転し既設設備を負荷に応じて追従運転させることで、**運転効率の向上と安定的な蒸気供給**を行う。



多管式小型貫流ボイラー



多管式小型貫流ボイラー (正面)

- 敷地：沖縄県中頭郡西原町字上原207番地 (上原団地)
- 工事概要：多管式小型貫流ボイラー 1基
ボイラ効率：98%
実際蒸発量：2.2kg/h
- 設計：琉球大学 施設運営部
- 施工：株式会社テクノ工業
- 工期：H28.10～H29..2 (5ヶ月)
- 工事費：14,800千円

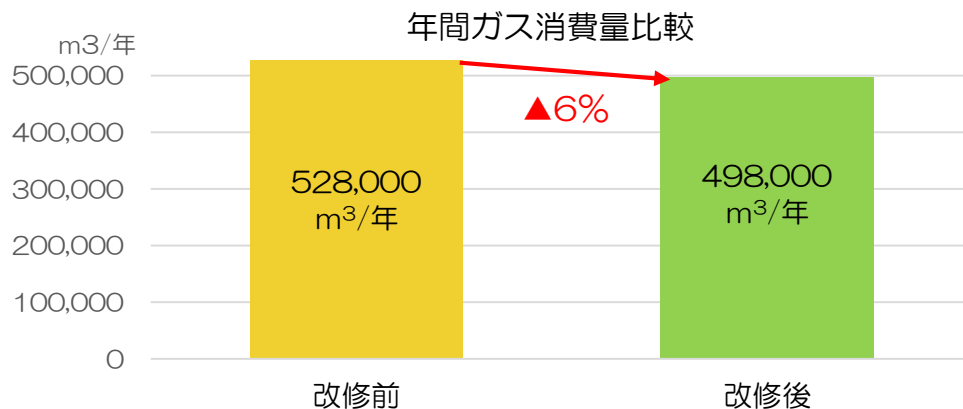


多管式小型貫流ボイラー (裏面)



薬注タンク・ポンプ

■ 効果



ガス削減量
▲30,000m³/年
▲6%

削減額
▲2,250千円/年

CO2削減量
▲70t/年